

「小名浜の新たな魅力創造事業」かわら版



「小名浜の新たな魅力創造事業」を開始しました！

➢本事業は、既成市街地・都市センターゾーン・アクアマリンパークの融合（2核1モール）と回遊性の向上を目指し、「賑わい」「景観」「交通」の視点から、地元住民・事業者・各行政機関が協働で行う取り組みをソフト面から支援し、賑わいのあるまちづくりを進めるものです。



目標：短期的(まち開きまで・まち開き後数年間)に取り組むべき施策の提案

賑わい

- 既成市街地に賑わいを呼び込むための取り組み
- 既存イベント等の効果増進や継続的实施に向けた取り組み



【例：イベント実態調査】

景観

- 賑わい創出につながる景観形成の取り組み
- 景観形成の実践による意識啓発に向けた取り組み



【例：イベント時の景観形成】

交通

- 効果的な交通誘導の実現に向けた取り組み
- 既成市街地の賑わい創出に向けた交通面からの取り組み

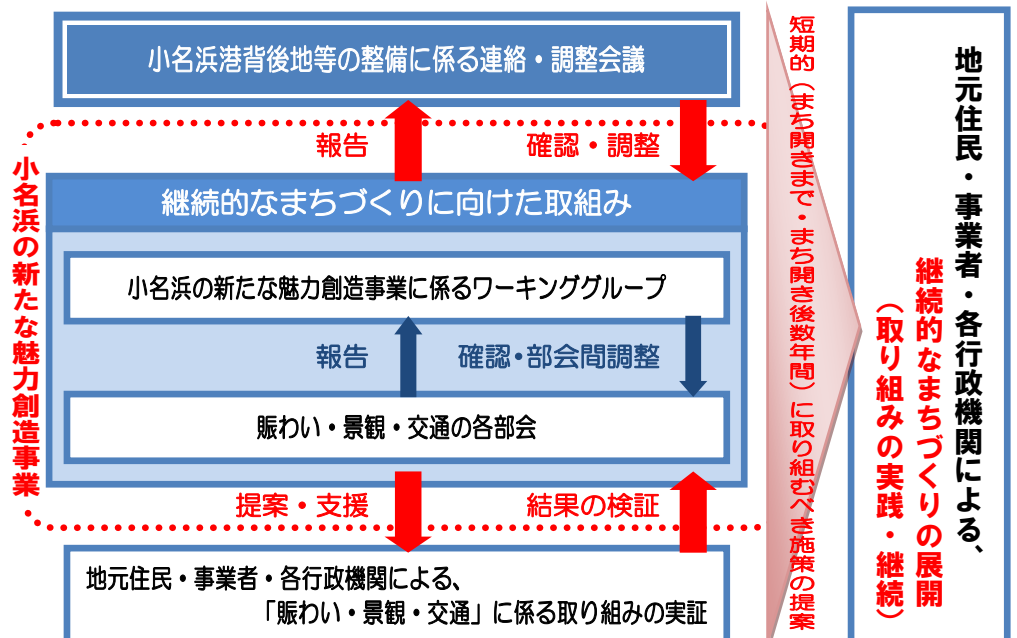


【例：案内・誘導マップ】

地元住民・事業者・各行政機関が協働で事業を進めていきます！

➢新たなワーキンググループのもと、賑わい・景観・交通の各部会を設置し、短期的に取り組むべき施策の実現や継続的实施に向けた検討を行います。

➢地元住民、事業者、国・県・市から構成される「小名浜港背後地等の整備に係る連絡・調整会議」と連携して進めていきます。





第1回 賑わい・景観部会を開催しました！

第1回 賑わい・景観部会の概要

【日 時】平成26年9月25日(木) 【場 所】小名浜まちづくりステーション

【参加者】賑わい・景観部会員：18名出席(地元住民・事業者・各行政機関のみなさん)

今後部会で検討するテーマについて話し合いました！

【検討テーマ】

『賑わいを市街地へ波及させる方法』

【主な意見】

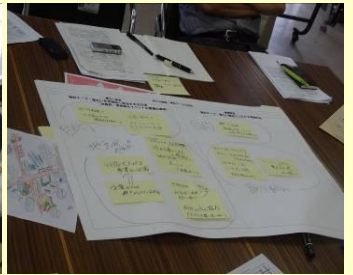
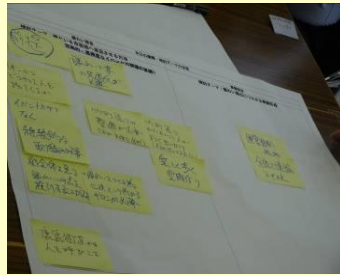
- ・既成市街地に足を向けてもらうきっかけ(目的)が必要。
- ・地元の方々が継続して実施・協力できる取り組みが重要。
- ・(仮)竹町通りに人を歩かせる方法は、イベント以外でもあるのではないかな？
- ・タウンモールリスポの「蚤の市」は60年間継続しているイベントの好事例だ。

【検討テーマ】

『賑わい創出につながる景観形成』

【主な意見】

- ・施設整備が完了していない今だからこそ、将来の景観イメージを共有していきたい。
- ・将来の景観イメージに基づいたルール設定の検討ができれば、なお良い。
- ・小名浜まちづくりステーション前のポケットパークや花壇整備の取り組みが、周辺の商店や住民に波及していけば良い。



10月12日に小名浜絆まつりが開催されました！

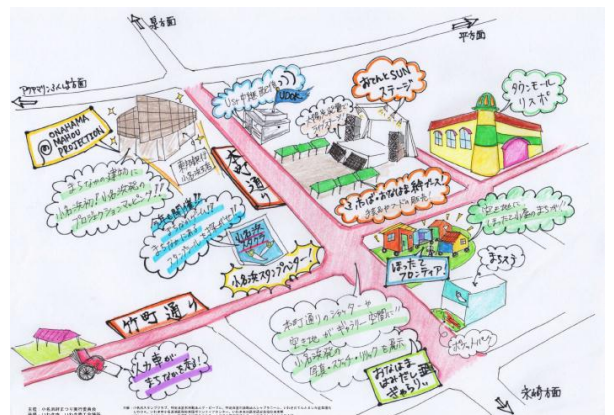
小名浜絆まつりとは？

- 小名浜周辺の「避難者との交流を通じた復興支援」と「地区商業機能の活性化」を目的に、今年で2回目となる「小名浜絆まつり」が本町通りと(仮称)竹町通りにおいて開催され、約3,000人が来場しました。
- 多くの地域住民、原発事故避難者、商工業者が一体となり、互いの交流が促進される取り組みを行っています。

本事業と小名浜絆まつりとの関わり

➢定期的・高頻度なイベント開催の実現に向け、どのような取り組みを実施すべきか検討するため、以下の基礎調査を小名浜絆まつりで実施しました。

- ①来場者アンケート調査
- ②歩行者交通量調査



【小名浜絆まつりイベントマップ】



【来場者アンケート調査】



【歩行者交通量調査】



第1回 交通部会を開催しました！

第1回 交通部会の概要

【日 時】平成26年10月29日（水）

【場 所】小名浜まちづくりステーション

【参加者】交通部会員：21名出席（地元住民・事業者・各行政機関のみなさん）

部会の流れ（平成26～27年度）

1. 交通の現状・問題・課題の共有
(想定される錯綜は?) ←今回!
- ↓
2. ソフト施策のアイデア出し
(課題対応するためのソフト施策は?)
- H26 ↓
- H27 3. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討①
(まち開きまでに取り組む施策は?)
- ↓
4. ソフト施策の具体的な取り組み内容の検討②
(施策をどの様に実現する?)
- ↓
5. とりまとめ

※議題の進捗等に応じ、開催回数を増やすこともあります

第1回部会の議題・流れ

小名浜港背後地及びその周辺における 交通の現状・問題・課題の共有

- ①広域的な交通に関する事項
 - ・現状及び整備予定道路
 - ・GW交通状況
 - ・広域的な交通に関する事項に係る問題・課題の共有
- ↓
- ②小名浜港背後地周辺の交通に関する事項
 - ・整備予定道路及び駐車場
 - ・小名浜港背後地周辺の交通に関する事項に係る問題・課題の共有
- ↓
- ③意見のとりまとめ

交通の現状・問題・課題の共有を行いました！

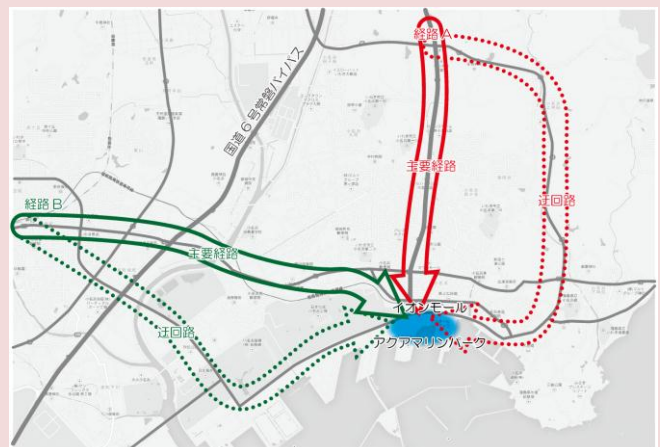
視点①：交通を分散させるための迂回路への誘導

《懸念される問題・課題》

- ・リスボ駐車場に向かう交通で、小名浜本町交差点付近が混雑するのではないかと
- ・「いわき東警察署」交差点で神白方面へどのように誘導させるか？
- ・いわき湯本ICから大原街道を通る交通を、神白方面へ誘導することも必要
- ・イオンモールとアクアマリンパークの来訪者は出発地が異なるので、誰をどの様に誘導するのか？

《課題解決に向けたアイデア》

- ・案内誘導を行うツールとして、道路情報板を使用することが考えられる
- ・ロードマップは、イオンモール・アクアマリンパーク3施設・既成市街地で共有化すべき
- ・迂回をすることによるメリットが必要



視点②：自動車を減らすための公共交通の利用

《懸念される問題・課題》

- ・特異日などの混雑時におけるバス運行では、定時性の確保が課題（特に鹿島街道）



視点③：効率的な駐車場の運用

《懸念される問題・課題》

- ・買い物に来た場合は、できる限り対象施設の近くに駐車したいと考える
- ・来場時の入庫だけでなく、帰宅時の出庫をどのように行うのかを考えることが必要
- ・アクアマリンパーク3施設及びイオンモールの来場者は、どこの駐車場でも使えるようにすることが必要
- ・アクアマリンパーク3施設及びイオンモールの各駐車場の満・空情報をどのように管理・共有するか
- ・タウンモールリスポの駐車場に停めてイオンモール等に向かう人も出てくるとともに、タウンモールリスポ駐車場やその周辺が混雑することも考えられる

《課題解決に向けたアイデア》

- ・ライブカメラを導入し、各施設の駐車場の状況を配信
- ・交通のエリアマネジメント（警備体制等の施設間連携）が必要
- ・従業員駐車場を既成市街地側に確保し、シャトルバス等によりピストン輸送する
- ・アクアマリンパーク駐車場の東側・西側の車の往来を可能にする

視点④：小名浜港背後地周辺内を移動する手段の確保

《懸念される問題・課題》

- ・各施設間は、買い物後に荷物を持って歩くには遠い

《課題解決に向けたアイデア》

- ・施設間を移動するために地下道や動く歩道が必要
- ・自転車で走れる環境づくりや回遊コースの設定等が必要
- ・鹿島街道で東西に分けて、循環バスを走らせる

視点⑤：港湾交通への影響は？

《懸念される問題・課題》

- ・将来的には、3号埠頭から石炭を運ぶトラックが1,000台/日くらい発生すると思われる
- ・業務車両と観光客等車両が錯綜し、魚の搬出に支障が出るのではないかと

その他の事項

《懸念される問題・課題》

- ・汐留区から小名浜港線に出る際、信号がないと右折が困難となるのでは



次回部会の予告

【賑わい・景観部会：11月19日（水）開催】

- ・「既成市街地に賑わいを波及させるための課題共有とアイデア出し」を行います。

【交通部会：12月17日（水）開催予定】

- ・「ソフト施策のアイデア出し」を行います。

問合せ

福島県いわき建設事務所

〒970-8026 いわき市平字梅本 15 番地
電話：0246-24-6143
担当：安齋、森